

経営比較分析表（令和3年度決算）

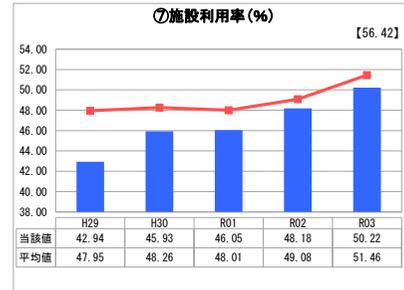
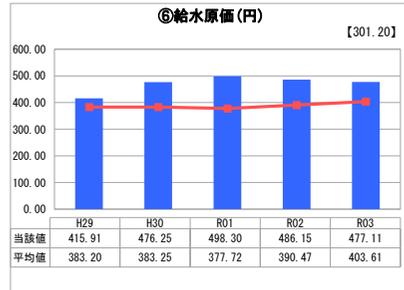
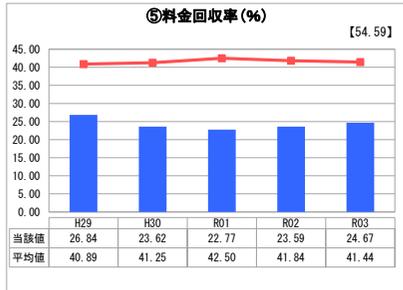
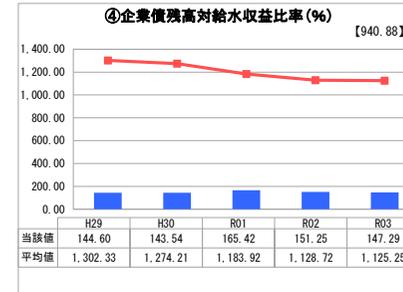
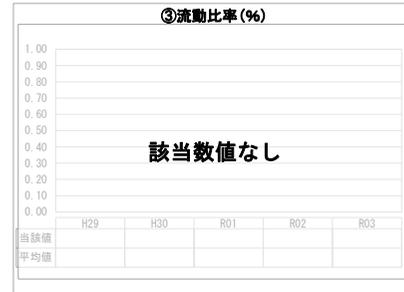
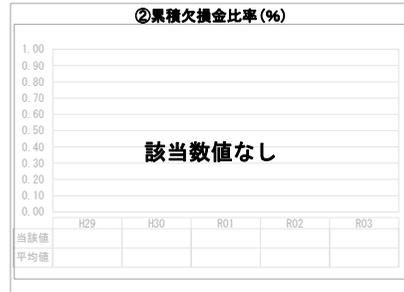
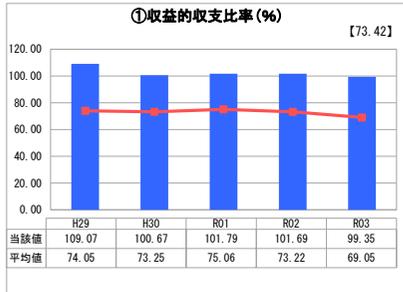
山口県 和木町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	30.36	1,705	

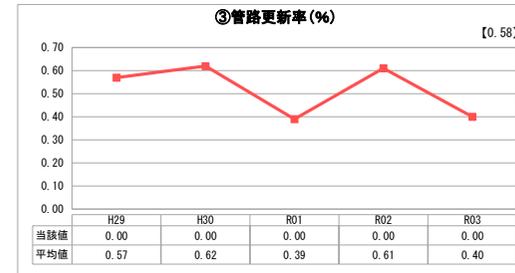
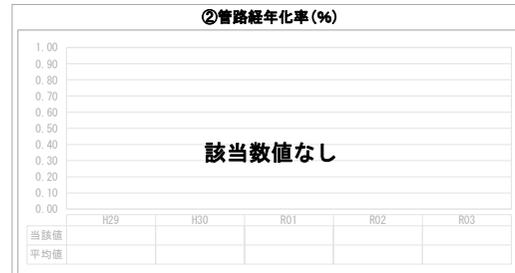
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,076	10.58	574.29
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,834	0.99	1,852.53

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益の収支比率
類似団体と比較して良好な数値を保っているが、100を下回ったため改善に努める。
- ④企業債残高対給水収益比率
起債の償還は順調であり、今後予想される施設の更新においては企業債の発行を計画的に行いたい。
- ⑤料金回収率
回収率は近年は微増となっているが、平均値とは依然乖離しているため、改善に努める。
- ⑥給水原価
有収水量の増加により給水原価は減少となっている。今後は施設の老朽化による漏水の発生等により上昇していくことが懸念される。
- ⑦施設利用率
効率的な施設の運用に努める。
- ⑧有収率
施設利用率が上昇しているが有収率は下がっており、漏水調査等を行い改善に努める。

2. 老朽化の状況について

既存の施設や管路の老朽化が著しい。漏水については、応急措置程度の修繕によって対応し、本格的な管の敷設替は財政的な事情により先送りとなっていることから、管路更新率の数値として表れていない。管路の耐用年数等から、更新事業は不可欠であるため、簡易水道事業の継続を軸に、事業スケジュールの適正化や更新スケジュール等を検討している。

全体総括

管路や施設の老朽化が進行しているため、今後更新していく可能性が高い。
令和6年度から財政状況を詳細に把握できる公営企業会計への移行を行い、事業運営を行っていく。